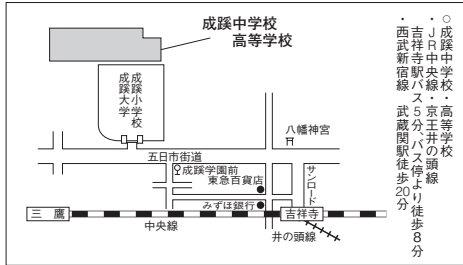


成蹊中学校・高等学校

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-10-13 ☎0422-37-3818 学校長 仙田 直人



〈URL〉 <https://www.seikei.ac.jp/jsh/>

沿革 明治39年(1906)成蹊園を開塾。明治45年(1912)、成蹊実務学校として池袋に創立。その後、大正3年(1914)成蹊中学校を創設、同13年(1924)吉祥寺に移転し、その翌年成蹊高等学校(7年制)を創設。昭和22年(1947)新制中学校、同23年(1948)、新制高等学校として再発足。

個性と多様性の尊重 根底からの学び、多彩な進学先

成蹊学園は、1912年の創立以来、創立者中村春二が画一的教育に陥ることを憂えて提起した理念、「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」を100年にわたって堅持してきました。人格、学問、心身にバランスのとれた「人間教育」を実践したい、という中村の言葉からは、教育はつまるところ人間づくりであるという明確な意思を読み取ることができます。この理念に共鳴した親友、岩崎小弥太(三菱4代目)と今村繁三(今村銀行頭取)の支援を受けて始まった成蹊学園は、今日では武蔵野市吉祥寺に、小学校から大学・大学院まで約27万平方メートルのキャンパスを擁する総合学園となっています。

多彩な生徒たちがともに学ぶ意味

成蹊中学校には3種類の入り口があり、背景の異なる生徒たちを迎えています。中学の入学試験、併設する成蹊小学校、さらに中学1年にだけ設置されている帰国生学級の「国際学級」には世界各地から、主に英語で教育を受けてきた生徒が入学します。

成蹊小学校からの進学者はそれぞれ豊かな趣味
今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



や得意分野を持ち、中学校で友人を増やせることをとても楽しみにしています。

また、国際学級の生徒たちも授業以外のすべての学園生活、つまり、行事やクラブ活動は全員一緒にになるので、自然に日本の学校になじんでいくような配慮がなされています。

このように、多様な背景を持つ個性的な生徒たちがともに学び、活動することの意義は大きく、異なる価値観同士のぶつかり合いと、異なる個性を尊重する寛容性の大切さを学ぶ体験、これらが日常的に展開されているのが成蹊中学・高等学校なのです。

創立当初よりリベラルアーツを重視

成蹊では、一人ひとりが「本物に触れる」体験の中から、自身の「琴線に触れる」機会が多く作られており、創立当初からの教育が時代の変化に合わせて進化しています。その学びを深めるために、自ら課題を発見し、解決するための探究学習が充実しており、それにより、自身をみつめ、将来の目標をみつめることへとつながっています。

根源的体験としての国際理解教育

成蹊では、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国際社会で個性を発揮できる人材を育むため学園全体で国際理解教育に力をいれています。中高生を対象とした留学プログラムも多数用意しており、留学制度が充実しているのも成蹊ならではです。なかでも1949年から始まった米・名門セントポールズ校と1970年から始まった豪・カウラ高校との交換留学制度は両国とわが国の友好に資するものとして評価されており、追って米・

名門のチョート・ローズマリー・ホール校と、フィリップス・エクセター・アカデミー校との交流も始まりました。カナダへのターム留学も開始され、ホームステイで異文化を体験するなど、語学だけにとどまらない経験を得られます。高校では常時留学生を受け入れているので、日常的に国際交流の機会が設けられており、国際社会の中で自分の人生を考える機会を生徒に提供しています。

多彩な進路を支える教育システム

細分化され、広い分野を網羅したカリキュラムのもとで偏りのない学習をする中から自らの興味

データファイル

■2024年度入試日程
※募集要項において9/30より学校HPに公開

中学校					
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
一般1回 男約45 女約45	1/10~1/24	2/1	2/2	※	}
2回 男約20 女約20	1/10~24、2/2~3	2/4	2/4		
国際 中1男約15 中2帰国 男女若干	12/4~12/10	1/8	1/8		

高等学校					
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
推薦 男女約20	1/15~1/17	1/22	1/23	※	}
一般 男女約60	1/25~30、2/2~3	2/10	2/11		
帰国 男女若干	12/20~1/11	1/22	1/23		
高2編入 男女若干	2/24~3/7	3/14	3/14		

■2024年度選考方法・入試科目

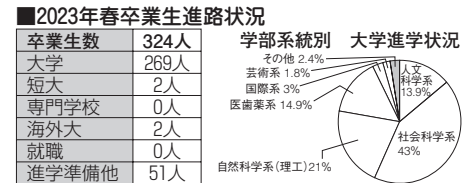
中学校	
一般	国語、算数、社会、理科
帰国	国語、算数、面接
〈配点・時間〉国・算=各100点50分 理・社=各50点30分	
高等学校	
推薦	書類審査、適性検査(国・数・英〈リスニングを含む〉=各100点45分)、面接
一般・帰国	国語(帰国は古典除く)、数学、英語(リスニングを含む)、面接
〈配点・時間〉国・数・英=各100点60分	
〈面接〉生徒個人 参考	

■2023年春併設大学への進学〈合格者数〉
進学条件は高校3年間の成績および出欠状況の基
説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

関心を発見するプロセスが、回り道のようにですが最善のものです。中学校段階から国語、社会、数学、理科、英語は専門分野別に授業を行います。さらに、中学1年の英語の授業は1クラスを2分割し、小学校での英語指導状況に応じた少人数授業を行っています。また、高校1年の芸術科目で、「音楽」「美術」のほか「書道」「工芸デザイン」まで選択可能としている学校は、かなりの大規模校でも珍しいでしょう。このようなカリキュラムと、卒業生の協力を得た様々な進路ガイダンスなどの行事とが組み合わせられて、多彩な進路を実現しています。

準を満たすと資格が得られます。成績上位者は、推薦資格を維持しながら他大を受験できる制度あり。
成蹊大学-108(経済20、経営34、法21、文23、理工10)

■指定校推薦枠のある主な大学
国際基督教大 慶應義塾大 早稲田大 中央大 上智大 立教大 東京理科大 北里大(医) など



■2023年度入試結果

中学校					
募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
一般1回男約45女約40	186/173	163/160	76/58	2.1/2.8	}
2回男約25女約20	328/265	185/161	33/45	5.6/3.6	
国際	約15	20/19	15/14	13/11	1.2/1.3
高等学校					
募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
推薦	約20	14/21	14/21	12/12	1.2/1.8
一般	約60	115/98	113/96	40/32	2.8/3.0
帰国	若干	28/35	27/34	15/16	1.8/2.1

〔学校説明会〕 全て要予約。詳細はHP参照
 ★中学校 10/7 11/4
 入試対策講座(小6対象) 10/21 11/11
 クラブ体験 10/7
 ★高等学校 10/14 11/25
 〔見学できる行事〕 要予約
 文化祭(中高合同) 9/30・10/1